

地域環境工学概論Ⅱ（7月2日）～京都府職員、森田さんに話を聞こう～

1)農村の多面的機能

- ・食糧生産
- ・土壌と植物（農産物）のもつ保水力に起因する災害防止機能
- ・自然の浄化作用（有機物を養分として利用、光合成で二酸化炭素を酸素に）
- ・温度変化を和らげる（水があるので気化熱で温度上昇がある程度抑制される）
- ・自然生態系の維持
- ・景観保全

2)農林水産業の現状

- ・担い手の減少
- ・従事者の高齢化
- ・農村地域の過疎化
- ・耕作放棄地の増加
- ・鳥獣被害の増加
- ・食糧自給率の低さ（カロリーベースで39%、生産額ベースで66%）

3)京都府としての取り組み「京力プラン」

農村には持続可能性を保つ役割があることを踏まえ、農村漁村地域の維持、発展、振興を目的としている

具体的には

農業農村整備（災害に強い農村づくりという面もある）

圃場整備（圃場整備の効果がある所はほとんどやった、）

農道整備

集落排水

巨椋池整備（排水施設、頭首工、ため池）

鳥獣対策

- ・個体数管理（食物連鎖を崩さない）
- ・被害管理（農地を鳥獣から守る）
- ・生息地管理（鳥獣が本来の生息地で生息できるように）